

収支予算表

【収入の部】				単位：円	
項目	28年度予算	29年度予算		内容	
交付金	8,060,000	8,060,000	100%	地域づくり交付金	
再交付金	0	0		交付金返納補正予算未定	
雑収入	0	0		預金利息、コピー機・印刷機使用料等、未定のため 0円計上	
計	8,060,000	8,060,000			
【支出の部】				単位：円	
項目	28年度予算	29年度予算	割合	積算根拠	備考
生活改善 ハード事業	生 1,600,000	3,200,000	40%	1,100,000	従前生活環境整備的 (*1)
	産 1,200,000			600,000	受益者負担補填 (*2), その他
	防 1,450,000			1,500,000	従前防災防犯対策的 (*3)
	計 4,250,000				
親睦交流 メンタル事業	保 650,000	1,200,000	15%	1,050,000	従来交流事業 (37万+68万) (*4)
				150,000	福祉対策 (*5)
地域啓発 システム事業	教 1,100,000	1,200,000	15%	600,000	学校支援10万, 宵宮50万 (*6)
				400,000	生涯学習講座20万, 社会教育20万 (*7)
				200,000	総活躍事業20万 (*8)
企画開発 パイロット事業	0	270,000	3%	50,000	情勢と社会ニーズの調査, 書籍購入 (*9)
				170,000	資料作成設備 (一般開放) (*10)
				50,000	パイロット事業 等 (*11)
総務費	2,060,000	2,190,000	27%	1,360,000	事務費116.2万, 会議費20万
				800,000	人件費
				30,000	事務費加算(印刷費増加見込み)
計	8,060,000	8,060,000			

## 予算の積算根拠

- (\*1) 従前の生活環境に該当する整備費用。実績を基に算定。 28年度に特別措置した除雪機分は減額。
- (\*2) 受益者負担への補填分及びその他の経費計上。宵宮は地域啓発に移行。
- (\*3) 従前の防災防犯に該当する対策費用。必要性が高いため、ほぼ昨年と同程度。 また、防災防犯は、「人」への関連が強いから、優先事業として計画する。
- (\*4) 従来の交流事業として、唱歌37万、運動会とピンポン合せて68万(実際は運動会中止)を計上。
- (\*5) 福祉対策の具体的内容は今後の検討事項。但し、親睦・互助団体の会費要素への補填はしない。単純な交付金流用は廃止する>(\*00)参照。
- (\*6) 花巻小学校10万 及び はなまき宵宮50万は前年度実績。その他は(\*00)参照。
- (\*7) 生涯学習講座20万は前年度実績。社会教育20万は、社会ニーズに応じた生涯学習システム構築、具体的には、情報通信技術(ICT)をとおしたコミュニティ連携(防災システム、親交システム、学習システム等を検討中)。  
中央地区には、公民館型生涯学習とは違う社会教育理念に基づく事業が必要です。
- (\*8) 総活躍事業20万は、ニーズ型コミュニティの組成、地域と学校の連携、学びの循環 等の事業費。
- (\*9) 情勢と社会ニーズの調査、書籍購入等、これまでは担当者が個人負担。
- (\*10) 資料作成設備とは、非接触スキャナー、画像処理ソフト、データ装置等で、一般にも開放し、まなび学園や図書館利用者、学生等、生涯学習/教育支援に活用する。
- (\*11) パイロット事業(試行事業)は「次世代に継ぐ」がキーワードの事業。実施評価後は、生活改善/親睦交流/地域啓発に移行していく。
- (\*00) 地域づくり交付金使途の原則から、会費要素への補填、決算時に繰越金を出すところへの補助、別途に市から交付を受けているところへの支出、これらはできません。  
したがって、これまでの、花小教振、花巻中学校、公民館連協への支出は打ち切ります。  
また、趣味親睦的団体への単純支出はできません。